

常設展 茶道具

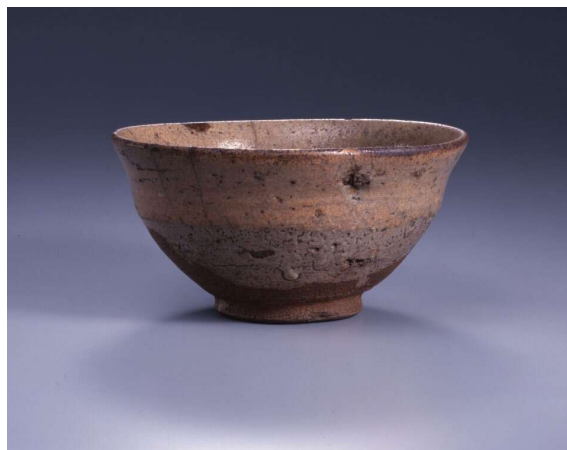
— 久保惣コレクションの優品 —

[会場・会期] 和泉市久保惣記念美術館：2025年2月15日（土）～3月23日（日）

1. 展覧会内容

あなたの好みを探してほしい

美術館の茶室耐震補強工事(1期)が令和6年度に竣工することを記念して開催する展覧会です。桃山時代、江戸時代の茶碗、茶入を始め、釜、水指、向付、茶杓、棗などの各種の茶道具を陳列し、美術館が所蔵する茶道具の優品を鑑賞いただきます。国指定品の国宝 青磁 鳳凰耳花生 銘万声、重要文化財 唐津 茶碗 銘三宝なども合わせて出陳し、茶室工事竣工を飾る展覧会といたします。



2. 主な展示作品

- ・備前 肩衝茶入 銘今布袋 桃山時代
- ・秋野蒔絵棗 江戸時代
- ・重要文化財 唐津 茶碗 銘三宝 桃山時代
- ・黒楽 筒茶碗 銘初霜 長次郎作 桃山時代
- ・与次郎 尻張釜 桃山時代
- ・国宝 青磁 鳳凰耳花生 銘万声 中国・南宋時代

3. 休館日 月曜日（ただし2月24日（月・振）は開館し、2月25日（火）は休館）

4. 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

5. 入館料 一般500円 高・大生300円 中学生以下無料
※団体（有料入館20名以上）、65歳以上は2割引
※各種障がい者手帳等を提示された場合、本人と介助者1名無料
※美術館の入館料、図録・グッズの支払いに、現金決済に加えてクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済手続きが可能です（以下、主な決済ブランド）。

重要文化財「唐津 茶碗 銘三宝」▲ 桃山時代

広い見込み（内底部分）、胴から口部にかけてゆったりと開いた姿の奥高麗茶碗です。唐津茶碗のなかで、李朝陶技の影響が強い初期のものは奥高麗と呼ばれ、桃山時代、佗び茶の流行に即応して作られました。高台際から胴の中ほどにかけての幅広の削面と中ほどから口縁にかけての反りがこの茶碗の個性となっています。本品は奥高麗茶碗を代表する作品の1つです。



和泉市久保惣記念美術館 開催要項

6. イベント情報

スライドレクチャー

2月23日（日・祝）、3月15日（土）

いずれも午後2時より、スライドを使った展示解説を行います。（開場は午後1時30分）

ミュージアムコンサート

〔開場〕 午後1時30分 〔開演〕 午後2時（全日共通）

〔開催日〕 2月15日（土）、16日（日）、22日（土）、24日（月・振）、3月1日（土）

2日（日）、8日（土）、16日（日）、20日（木・祝）、22日（土）、23日（日）

※上記イベントの、スライドレクチャー、ミュージアムコンサートはいずれも久保惣 Ei ホール（音楽ホール）で行い、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より入館レシートご提示の方に配付する整理券が必要です。なお、先着120名で入場制限を行います。全席自由席。内容については美術館までお問い合わせください。

7. 交通案内 ●電車の場合 泉北高速鉄道「和泉中央」駅下車、南海バス①⑨乗り場より（①「美術館前」「松尾寺」行、⑨「春木川」「若樫」行）乗車、バス停「美術館前」下車すぐ
- 車の場合 阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分（無料駐車場有）

8. お問い合わせ先

和泉市久保惣記念美術館

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12

T E L : 0725-54-0001 H P : <https://www.ikm-art.jp>

